



平成 29 年 2 月 17 日

各 位

会 社 名 九州電力株式会社
代表者名 代表取締役社長 瓜生 道明
(コード：9508 東証第一部、福証)
問合せ先 発電本部 原子力企画グループ長 本田 光生
TEL . (092)761-3031

川内原子力発電所 1 , 2 号機 特定重大事故等対処施設設置工事に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 17 日、原子力規制委員会に川内原子力発電所 1 , 2 号機の原子炉設置変更許可申請（特定重大事故等対処施設の設置）に係る補正書の再提出を行い、同補正書に、特定重大事故等対処施設設置工事（1号炉及び2号炉）に要する資金等について記載しておりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1 . 特定重大事故等対処施設設置工事（1号炉及び2号炉）の理由

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第 43 条の 3 の 6 第 1 項第 4 号の規定に基づき、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第 42 条で設置を定められているため。

2 . 特定重大事故等対処施設設置工事（1号炉及び2号炉）の内容

(1) 所 在 地：鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山 1765 番地 3

(2) 資 金：約 1,800 億円

(3) 施 設 概 要：(別紙参照)

貯水槽及び注水ポンプ

フィルタベント

窒素ポンベ（原子炉減圧操作用）

発電機

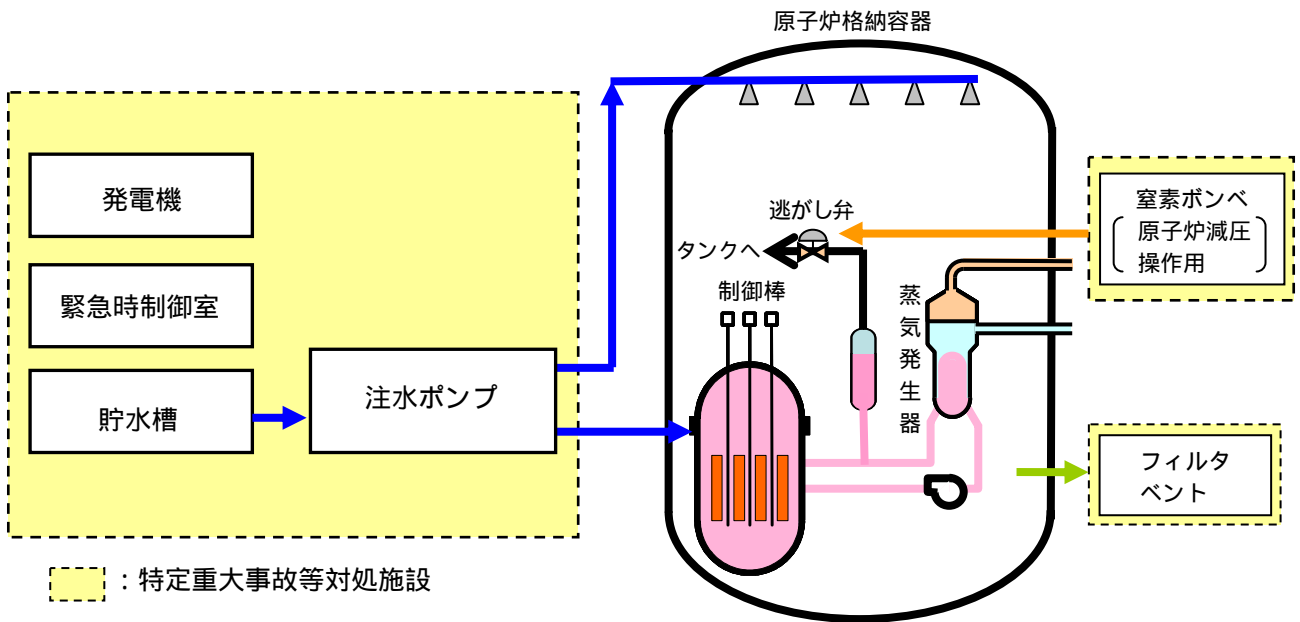
緊急時制御室

(4) 工 期：平成 32 年に使用開始予定

3 . 今後の見通し

本件が当社の平成 29 年 3 月期の業績に与える影響は軽微であり、平成 29 年 1 月 30 日に公表した業績見通しの変更はありません。

以 上



特定重大事故等対処施設の概要図

フィルタベント

原子炉格納容器内の圧力が異常に上昇した場合、原子炉格納容器の損傷を防止するため、その内部の蒸気を放出（ベント）し、圧力を低減するとともに、大気中に放出される放射性物質を低減させる装置